

目指す生徒像 『○思いやりのある生徒 ○心身を鍛える生徒 ○自主的に学ぶ生徒』

□コロナ対策に追われた1学期が終わりました！

夏休み

令和3年度の1学期が終わりました。今年も昨年度同様、新型コロナウイルス感染対策を徹底するため、行事を中止したり規模を縮小したりするなど、通常通りの学校生活とは大きくかけ離れたものとなりました。

また、4月22日には緊急事態宣言も発出され、さらに厳しい対応を迫られることとなりました。このような状況の中、生徒達は日々の学校生活を明るく元気に過ごすとともに、大きな成果を上げながら確実に成長してきたと感じています。

さて、明日からは長い夏休みとなります。この期間に今までの疲れをしっかりと取り、リフレッシュして2学期の準備をして欲しいと思います。

また、いつも申し上げていますように、一番大切なことは自分の命です。この期間中も交通事故や水の事故などが起こらないように、「自分の命は自分で守る」という気持ちをしっかりと持たせてほしいと思います。

併せまして、夜遅くまでゲームやネット関係の機器を使用することで、不規則な生活になるお子様が年々増加しています。また、このコロナの影響で、それが深刻化しているケースが多々あるということも聞いています。是非ともリズムを壊すことのないよう、規則的な生活習慣を身に付けさせていただきたいと思います。そして、絶対にあってはいけないことですが、万一事件・事故に遭ったり、大きな病気やけがをしたときは、学校に連絡をしてください。よろしく願います。

今年も暑い夏となっています。健康に留意してこの暑さを乗り切り、9月1日の始業式を迎えることを、心より楽しみにしています。



□家族の絆！その3

前号に引き続き、家族の絆のエッセイです。今回は東日本大震災を経験した中学生の作品です。是非ご家族でござ一読下さい。



ああ、「家族のきずな」ってすごいなあ。

今は、祖父母もみんな近くに住んでいて、八年前には、弟も生まれました。震災から七年たった今でも母は、十三才になったぼくの成長の一つ一つが嬉しいと、すぐに感動して泣いてしまう。「家族の笑顔が本当に嬉しい。」と、いつも言う。

「この子だけは、何があっても絶対に守る。」と強く誓ったそうだ。

次の日の朝、福島県から千葉県に避難した。その頃の事を、ぼくはほとんど覚えていない。

でも家族は、「東吾がいてくれたから乗り越えられた毎日だったんだよ。ありがとう。」と今でも繰り返す。

初めての土地にきた母は、ぼくの事を「この子だけは、何があっても絶対に守る。」と強く誓ったそうだ。

東日本大震災に遭った。

でも、二〇一一年三月十一日、ぼくはから幼稚園に入園の予定だった。

四月

『家族の絆』ってすごい！

中学一年生の作品